

事業所名:社会福祉法人仁栄会 ねむのき

公表:令和2年3月25日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・ロッカーの共有、鎮静するスペースなどを考慮して対応している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・国の配置基準以上に職員配置をしている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・各クラスごとに部屋で全ての活動をしているため、スケジュールを提示し、区切りをつけている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・掃除は徹底しており、環境も視覚的にあまり刺激がないように配慮している。	
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・多職種参加の業務改善委員会を行っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者評価の内容によって改善すべきところは改善している。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・必要に応じて法人全体で検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に施設内研修を行っている。	
適切	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・保護者の意見を踏まえ、アセスメントが適切かクラス職員全員で確認し作成するよう努めている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・遠城式発達検査のみを実施している。	

関 連 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・支援計画にガイドライン項目を記載し、支援会議には施設長や児童発達支援管理責任者を交えて行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・毎日記載する支援日誌にも、ガイドライン項目を入れて適切に支援を行えるように意識して関わっている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節の行事等、子どもの状況に合わせて設定している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・個々のケースに応じて実施している。	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○				
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				

連携 機関や 保護者 との 連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				・施設長が子ども・子育て支援会議に委員として参画したり、児童発達支援管理責任者等が子ども支援部会に参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者 への 説明 責任 等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○				・全利用児の保護者を対象に周知し、参加希望者を実施している。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・年4回の個別面談を実施している。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・体制については、入園説明会や契約時に説明し施設内にも掲示している。 ・相談等の申し入れに対しては、迅速に対応できるよう適宜改善策などを示すようにしている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・活動内容が分かるように写真入りのお便りを毎月発行している。

	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑨ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			・周知が十分とは言えないので、今後は法人全体で検討できるよう努めます。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				・入園時に必要な服薬等を確認し、職員で周知している。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				・管理栄養士を中心に、食品のみでなく食器なども他児と分けて間違いの無いように工夫している。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				・毎月虐待防止委員会を開催し、状況把握に努めている。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				・やむを得ない身体拘束(座位保持椅子・保護帽など)については、同意書を提出してもらうとともに個別支援計画や支援日誌にも実施時間を記載している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。